## 法学研究科履修モデル

#### I. 博士前期課程

## 【1】 共通事項

- 1. 院生は、2年以上在学し、30単位以上履修しなければならない。その内、専修科目を12単位及び選択科目を18単位修得しなければならない。
- 2. 院生は、修士論文を提出しなければならない。

## 【2】 履修モデル

#### 基礎法関係領域の場合

対日の経歴	1年次		2 年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	法哲学講義 I	2			
	法哲学講義Ⅱ	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語 (英語)	2			4
関連科目 (選択科目)	憲法講義 A I	2	刑事法講義AI	2	
	憲法講義 A II	2	刑事法講義AII	2	
	民法講義AI	2			
	民法講義 A II	2			
	法社会学講義 I	2			
	法社会学講義Ⅱ	2			16
単位数計		24		8	32

(上記は法哲学講義 I 、II を専修科目とするが、法社会学講義 I 、II 、法制史講義 I 、II を専修科目とすることも可。)

#### 公法関係領域の場合

利日の钎籽	1 年次		2 年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	憲法講義 A I	2			
	憲法講義 A II	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語 (英語)	2			4
関連科目 (選択科目)	憲法講義 B I	2	行政法講義 B I	2	
	憲法講義 BII	2	行政法講義 BII	2	
	行政法講義 A I	2			
	行政法講義 AⅡ	2			
	政治・外交史講義 I	2			
	政治・外交史講義Ⅱ	2			16
単位数計		24		8	32

(上記は憲法講義 AI、AⅡを専修科目とするが、憲法講義 BI、BⅡ、憲法講義 CI、憲法講義 CⅡ、行政法 AI、AⅡ又は行政法講義 BI、BⅢを専修科目とすることも可。)

# 民事法関係領域の場合

到日の種類	1 年次		2年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	民法講義 A I	2			
	民法講義 AⅡ	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語(英語)	2			4
関連科目 (選択科目)	民法講義 C I	2	民事訴訟法講義AI	2	
	民法講義 CⅡ	2	民事訴訟法講義 A II	2	
	民法講義 D I	2			
	民法講義 DⅡ	2			
	商法講義 B I	2			
	商法講義 B II	2			16
単位数計		24		8	32

(上記は民法講義 AI、AIIを専修科目とするが、民法講義 CI、CII、民法講義 DI、DII、商法講義 BI、BII、商法講義 CI、CII、民事訴訟法講義 AI、AII 又は民事訴訟法講義 BI、BII を専修科目とすることも可。)

## 刑事法関係領域の場合

MAT IN					
が日の任料	1年次		2 年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	刑事法講義AI	2			
	刑事法講義 A II	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語 (英語)	2			4
関連科目 (選択科目)	刑事法講義BI	2	憲法講義 B I	2	
	刑事法講義 B II	2	憲法講義 B II	2	
	法哲学講義 I	2			
	法哲学講義Ⅱ	2			
	憲法講義AI	2			
	憲法講義 A II	2			16
単位数計		24		8	32

(上記は刑法講義 A I 、A II を専修科目とするが、刑法講義 B I 、B II 又は刑事法講義 C I 、C II を 専修科目とすることも可。)

社会法関係領域(社会保険労務士又は労働基準監督官を希望する)場合等

利日の徒朽	1年次		2年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	社会法講義 I	2			
	社会法講義Ⅱ	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
					2
関連科目 (選択科目)	行政法講義 A I	2	行政法講義 B I	2	
	行政法講義 AⅡ	2	行政法講義 BⅡ	2	
	民法講義AI	2			
	民法講義 AⅡ	2			
	民法講義 C I	2			
	民法講義 СⅡ	2			20
	商法講義AI	2			
	商法講義 AⅡ	2			
	*民法、商法に代え				
	て、社会保障論 A、				
	B 等の他研究科の				
	社会保障、労働問題				
	に関する科目を履				
	修することも可				
単位数計		26		8	34

# 国際法関係領域の場合

対日の経歴	1 年次		2 年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	国際法講義AI	2			
	国際法講義 AⅡ	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語 (英語)	2	専門外国語 (仏語)	2	6
関連科目 (選択科目)	国際法講義 B I	2	国際民事法講義 I	2	
	国際法講義 BII	2	国際民事法講義Ⅱ	2	
	国際法講義CI	2	国際協力論講義 I	2	
	国際法講義 CⅡ	2	国際協力論講義Ⅱ	2	
	国際法講義 D I	2			
	国際法講義 DII	2			24
単位数計		24		8	38

(上記は国際法講義 A I、A II を専修科目とするが、国際法講義 B I、B II、C I、C II、D I、D II、 国際私法講義 I、II 又は国際民事法講義 I、II を専修科目とすることも可。)

# 政治学関係領域の場合

   科目の種類	1 年次		2 年次		
付日の性親	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	政治学講義 I	2			
	政治学講義Ⅱ	2			12
基礎科目(選択科目)	論文作成法	2			
	専門外国語 (英語)	2			4
関連科目 (選択科目)	国際政治学講義 I	2	国際協力論講義I	2	
	国際政治学講義Ⅱ	2	国際協力論講義Ⅱ	2	
	政治・外交史講義 I	2			
	政治・外交史講義Ⅱ	2			
	憲法講義 A I	2			
	憲法講義 A II	2			16
単位数計		24		8	32

<sup>(</sup>上記は政治学講義Ⅰ、Ⅱを専修科目とするが、政治・外交史講義Ⅰ、Ⅱ又は国際協力論講義Ⅰ、Ⅲを専修科目とすることも可。)

# 税理士試験免除を希望する場合

利日の経転	1年次		2 年次		
科目の種類	科目名	単位	科目名	単位	計
専修科目	法学演習	4	法学演習	4	
	税法講義 A	2			
	税法講義 B	2			12
基礎科目 (選択科目)	論文作成法	2			
					2
関連科目 (選択科目)	行政法講義 A I	2	民事訴訟法講義 A I	2	
	行政法講義 AⅡ	2	民事訴訟法講義 A II	2	
	行政法講義 B I	2			
	行政法講義 BⅡ	2			
	民法講義CI	2			
	民法講義 СⅡ	2			20
	商法講義 B I	2			
	商法講義 BⅡ	2			
単位数計		26		8	34

# Ⅱ.博士後期課程

1 年次	2 年次	3年次
法学・政治学特別講義の履修		
指導教員の「研究指導」の履修	指導教員の「研究指導」の履修	指導教員の「研究指導」の履修
修士論文を基に論文を纏めて院	論文を執筆(第2論文)	学位論文の提出
生論集に投稿 (第1論文)		